



じゅげむの会  
リーダー 瀬川かよ

私の趣味は朗読です。幼いころラジオから聞こえたお話の世界や、学校の昼休みにベンチで先生がしてくれたおぼけの話、私もいつか語り手になりたいと夢見ました。

子育てと生活に追われて夢を忘れていた30代、ふっと目にした広報がまごおりの記事「朗読ボランティア講座」の募集、早速申し込みました。

「朗読は声に出して読めば良いんでしょ」と思っていたのですが、講座を受けて知りました。自分のために読むのではないこと、伝える目的の朗読にはそれなりの技術と誠意が必要なこと。先生から返された真っ赤な校正ペンの入った原稿に涙した日々…。次第に楽しくなってきたころ、ボランティア朗読は単

調に情報を伝える音読読みとなつていくことに気がつきました。

幼いころ感動して聞いたお話の世界、そこに戻りたいと思つていた時「講座を持たないか」と声をかけられ、楽しい朗読をやるうと集まった6人で「じゅげむの会」を立ち上げました。それぞれの個性に合った読みで楽しく伝える朗読を学ぼうと、「生命の海科学館」での映像や音楽とともに語った宮沢賢治の著作「星座物語」や小学校の朝の読書タイムでの子どもたちの目の輝き、図書館での読み聞かせなど出合いの場も広がり、10年の間に会員は20人になりました。

年1回行われる勤労青少年ホームのホーム祭、今年は詩を朗読しました。仲間が練習中、たまたま横に座った病氣療養中の方が聞いて「生きる勇気が出た」と言われたとか、うれしい報告でした。

本から受ける感動を心と体を通して語り伝えられるようお互いに刺激し勉強する。じゅげむの会は朗読の楽しさとともに心の広場であり、社会とのつながりの場となりました。



図書館 ☎69・3706

ちょっとだけ思いやりを！

その4

図書館を気持ちよく利用していただくために、ほんの少しの心づかいをお願いします。

☆人はいないのに私物や資料が置いてあって席が利用できなかったことはありませんか。

◆荷物を置いて長時間離席することはご遠慮ください。貴重品などは手元において自己管理をお願いします。

☆新聞、雑誌、本のページやその一部が切り取られ読めなかったことはありませんか。

◆図書館の資料はみんなのものです。大切にしましょう。

👍  
おすすめの本



『Nのために』  
湊 かなえ / 著  
東京創元社

瀬戸内の島の東屋<sup>あずまや</sup>で、ビルの窓掃除のゴンドラの上で、古いアパートの一室で、わたしは「N」を守ることを決意した…。悲劇的な殺人事件の真相を、モノローグ形式で解き明かす連作長編。『ミステリーズ！』連載を単行本化。



「ちゅーちゅー」  
宮西達也 / 絵  
鈴木出版

【子ども向け】

お昼寝から目を覚ました3匹の子ねずみの前にいたのは、大きなねこ。びっくりした子ねずみたちでしたが、そのねこは、ねずみを見たことがありませんでした。子ねずみたちは、ねこをだまそうと…。